

第2回 日本大学医学部附属板橋病院 医療安全監査委員会要旨

- 1 日時：令和4年3月30日（水）
- 2 場所：新型コロナウイルス感染症拡大の為、書面会議で開催
- 3 委員：上條由美（委員長）、各務武希、柴田誠治、西成田進、庄司義男（いずれも委員）
- 4 病院出席者：高橋 悟（病院長）
鈴木 孝浩（副病院長 医療安全管理責任者）
中山 智祥（感染防止対策委員長）
福島 栄（薬剤部技術長・医薬品安全管理責任者）
岡本 一彦（臨床工学技士室技術長補佐・医療機器安全管理責任者）
安藤 智美（医療安全管理者）
石崎 豊久（庶務課課長補佐）
- 5 委員が確認した内容
 - ① 医療安全管理部門
 - (1) 医療安全管理委員会における構成員出席状況
 - (2) 委員会終了後の担当部門への周知・報告状況
 - (3) 医療安全に関する教育（講習会等）受講状況
 - (4) インシデント・アクシデントレポート報告状況
 - (5) その他、医療安全に関する取組みについて
 - ② 院内感染対策部門
 - (1) 感染防止対策委員会における構成員出席状況
 - (2) 感染防止のための教育（講習会等）受講状況
 - (3) 針刺し事例と防止対策について
 - (4) 手指衛生を徹底している状況下での新型コロナウイルス感染症以外の細菌（MRSA等）の感染状況について
 - (5) その他、感染対策に関する取組みについて
 - ③ 医薬品安全管理部門
 - (1) 薬剤管理委員会における構成員出席状況
 - (2) 医薬品の安全使用のための教育（講習会等）の受講状況
 - (3) 麻薬管理表による管理方法について
 - (4) その他、医薬品安全管理に関する取組みについて
 - ④ 医療機器安全管理部門
 - (1) 医療機器・放射線機器管理委員会構成員出席状況

- (2) 医療機器に関する教育（講習会等）受講状況
- (3) その他，医療機器の安全管理に関する取組みについて

6 監査結果・委員からの講評

- ① 昨年からM&Mカンファレンスが定期的開催されている。今後も継続願いたい。
- ② 医療安全管理室・管理委員会が十分に機能していることが確認できた。一方，規約上の整合性を問うあまり，診療現場での対応がややもすれば，事務的処理になっているのではないかと危惧している。
- ③ 医療安全管理委員会構成員の出席状況について，十分に達成されているが，恒久的に欠席している委員もおり，早急に改善すること。オブザーバー参加の研修医への連絡も研修管理委員会とコンタクトを持ち，出席させること。
- ④ 針刺し事例について，ルールの不徹底による事故が挙げられているが，関係者への注意喚起と啓蒙活動に取り組むこと。診療現場での研修会やミニカンファレンス等を日常的・定期的に設定する等の対策を検討すること。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染に関する職員の感染状況，ワクチン未接種者に対する対応等は次回委員会で確認する。
- ⑥ 医療機器の一元管理に取り組んでいることが確認できた。可能であれば，医療機器のクラスⅡまで病院全体の取組みとして全て把握できることが望ましい。例えば，超音波機器等は多くの診療科で使用されていることから，一元管理することで，効率的に運用することができる。
- ⑦ 書面会議の弱点として，種々の質問，指摘に対する回答が見えづらい，判りづらい点がある。次回開催は参集による委員会とするか，現状と改善すべき点をどのように改善していくのかを明確にわかるようにすること。

以 上